

会社説明会

2015年2月24日

地域とともに 地域のために



沖縄電力株式会社

【証券コード】
9511



沖縄電力株式会社

沖縄電力の概要

【当社の特徴】

- 東西1,000km、南北400kmに及ぶ広大な海域に点在する沖縄本島および37の島々に電力を供給
- 沖縄県の発展とともに今後も成長
- 本土と送電線が繋がっていない単独系統のため、広域融通の枠外
- 離島エリアは、更に11の独立した小規模系統に分かれており、系統ごとに内燃力発電所を設置し、海底ケーブル等も利用して電力を供給



安定供給

- お客様の暮らしや地域活動を支えていく上で、必要不可欠な電気を安定的に供給することが当社の使命
- 安定した良質な電気を24時間、365日コントロールしながらお客様へ供給
- 火力発電所で作られた電気に加え、再生可能エネルギーで作られた電気も含め、常に消費量と発電量のバランスをとることが必要

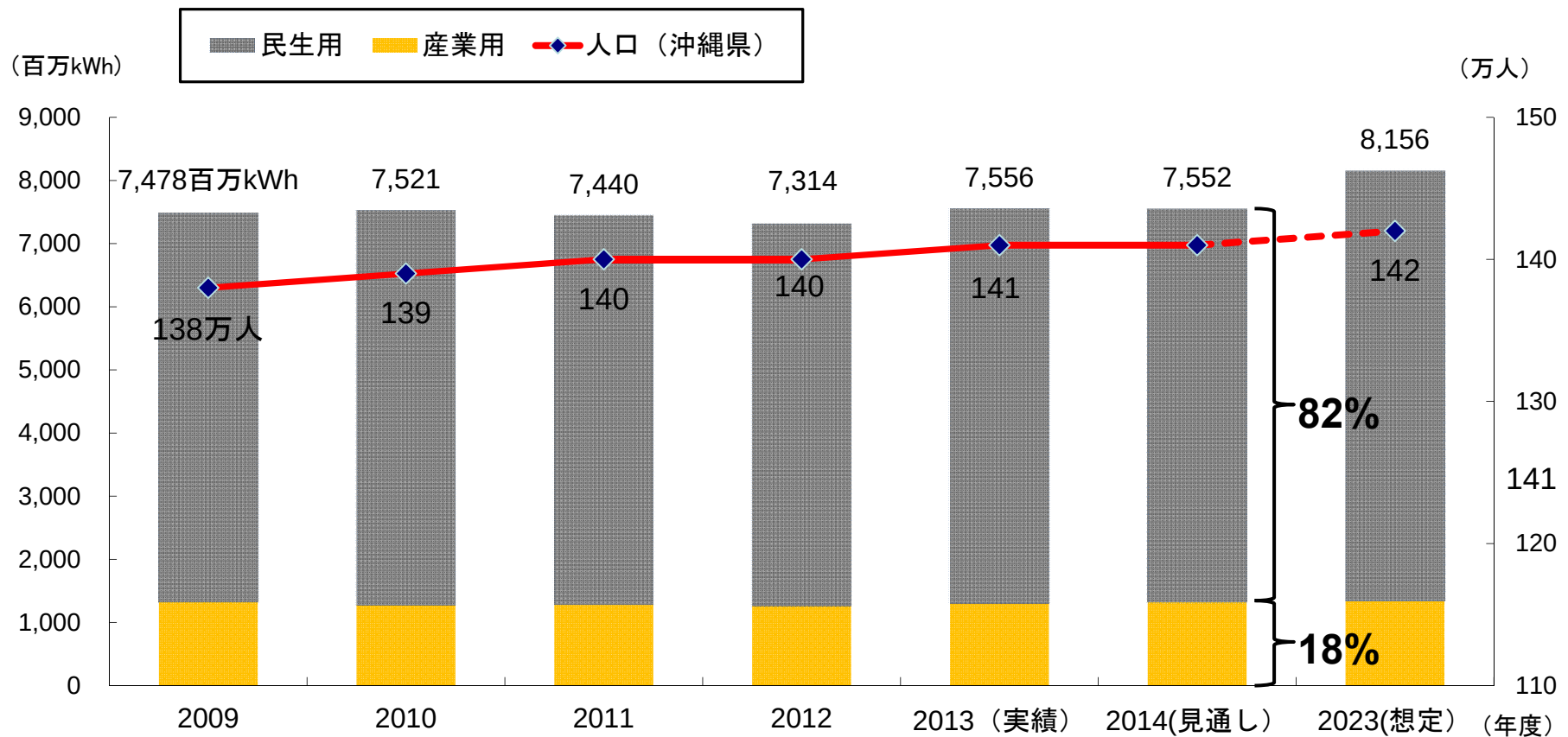
<電力供給の流れ>

発電所で作った電気は、送電線、変電所、配電線の流通設備を介してお客様にお届けしています。



電力需要

- 比較的景気変動の影響を受けにくい民生用需要が約8割を占める
- 人口の増加等を背景に、今後も電力需要は増加する見込み
(沖縄県は2025年頃に人口のピークを迎える見込み)

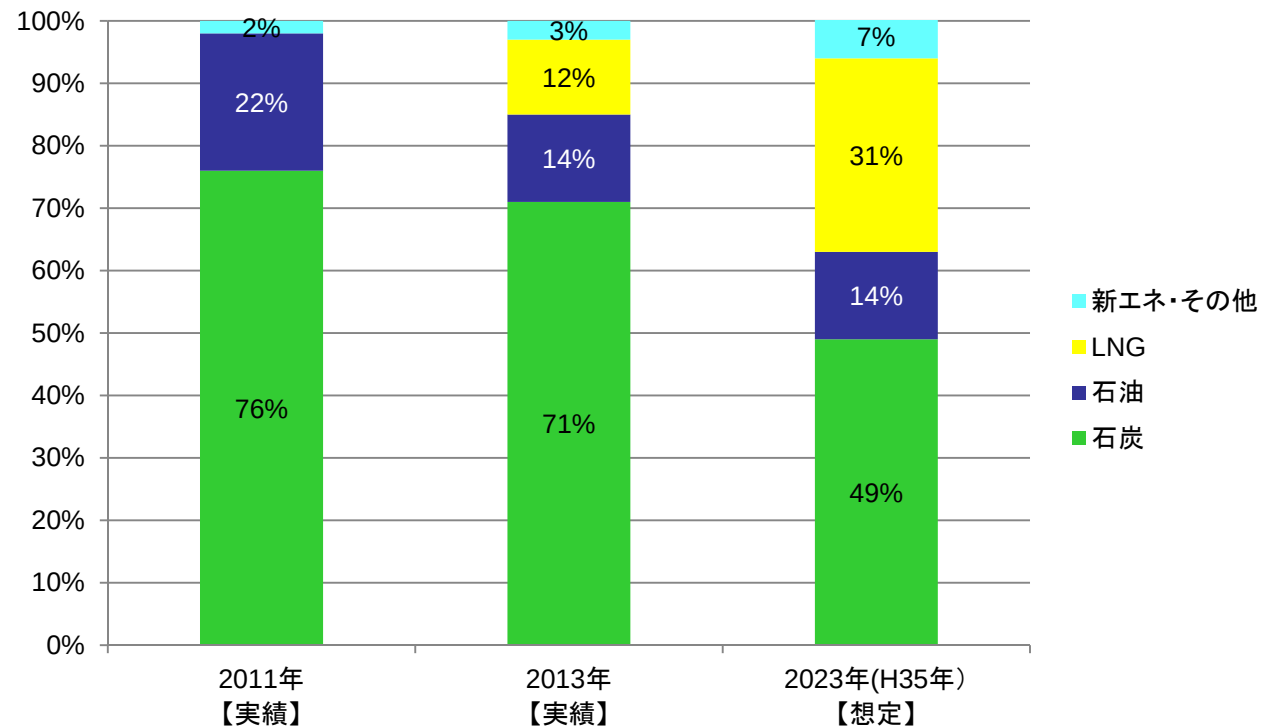


出所: 人口実績: 総務省、沖縄県 2023年度は当社想定値

電源構成

- 地理的・地形的特性および需要規模の制約等により、水力発電・原子力発電の開発が困難であり、石油火力、石炭火力を中心とした電源構成
- 当社初のLNGを燃料とする吉の浦火力発電所の運転開始(1号機:2012年11月、2号機:2013年5月)により、長期的な供給力、燃料の多様化および地球温暖化対策の有効な手段を確保

【発電電力量構成比率】



当社の取り組み

需要深耕に向けた取り組み

お客さまのコスト低減や安心・快適生活へのご要望にお応えするために、お客さまの生活スタイルや電気の使用形態に応じて最適な契約メニュー、お客さまにメリットの多い電化機器・システムの提案を行い、需要深耕に取り組んでいる

法人向け電化提案

■ 電化厨房システム

- 火を使わないので安心、ハイパワーで熱効率が良く経済的。
- 衛生管理手法であるHACCP（ハセップ）への相性が良く、3C（クール、コントロール、クリーン）で安全かつ衛生的で生産性の高い環境の実現が可能。

■ 蓄熱式空調システム

- 深夜の割安な電気料金を利用し夜間に氷や冷水を蓄え、冷熱を昼間の冷房に利用。
- 昼間の空調に係る電力が抑えられ、基本料金や電力量料金のランニングコストを低減。

■ 電気式冷暖房・給湯システム

- 少ない動力で大気中の熱を効率よく汲み上げ、消費する電力の数倍の熱エネルギーが得られる省エネルギー効果の高い「ヒートポンプ技術」を利用。

住宅向けオール電化の推進

■ IHクッキングヒーター + 電気給湯機 (エコキュート・電気温水器)

- 火を使わない暮らしで安心。
- オール電化割引や料金単価の安い時間帯での電気の使用でお得。
- IHクッキングヒーターはお手入れが楽。
炎から出る輻射熱がないのでキッチンが快適。
- 電気給湯機は自動運転でいつでもお湯が使えて手間いらず。

「セイクツをカエル。オール電化」

オール電化体験施設「カエルぴあ」では、電化機器の展示やIH料理教室などを行っております。

また、オール電化体験車による各種イベントへの参加なども行っておりますので、お近くにお越しの際はぜひ、お立ち寄りください。

＜オール電化体験施設「カエルぴあ」＞

- ・「カエルぴあ なは」：おきでん那覇ビル2F
- ・「カエルぴあ うらそえ」：おきでん牧港ビル7F
- ・「カエルぴあ うるま」：沖縄電力うるま支店3F

総合エネルギーサービスの展開①

【エネルギーとお客さまニーズの多様化】

近年の技術革新や省エネニーズの高まりを受け、特に熱需要の多い産業・商業用分野のお客さまのエネルギーの使われ方は非常に多様化している。

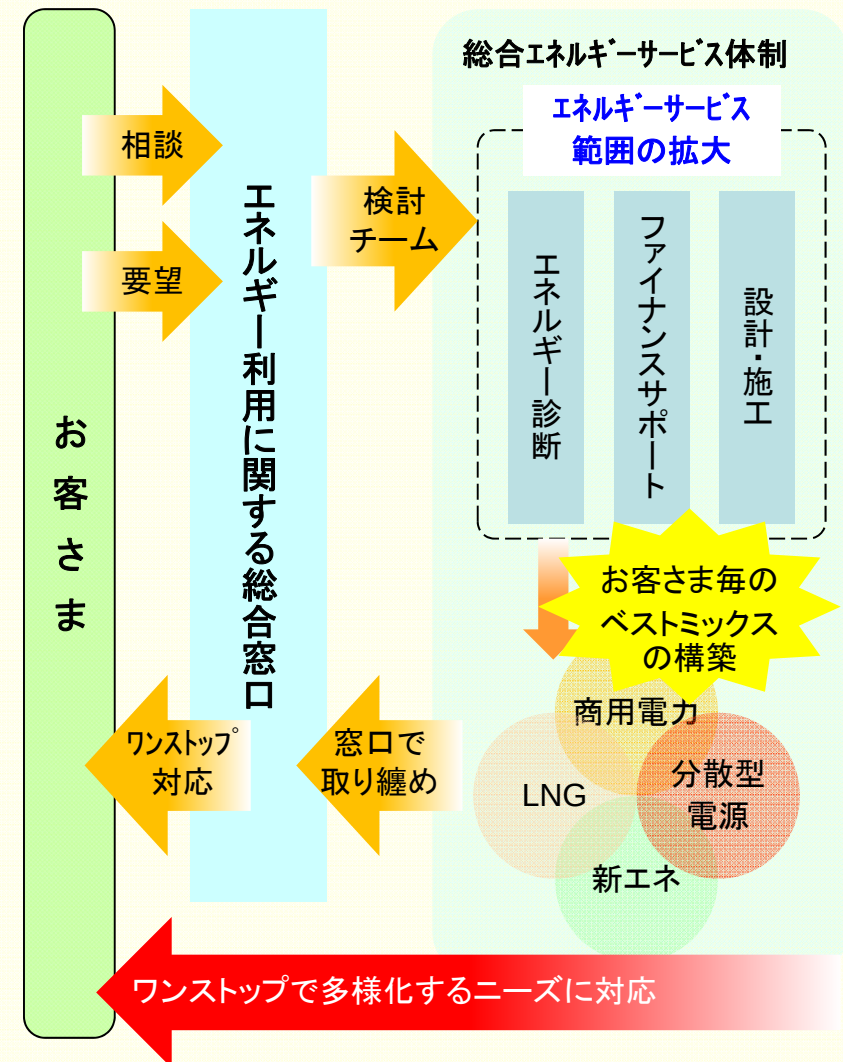
電気需要と熱需要（蒸気、温水、排熱利用）を組み合わせ、建物全体での効率的なシステムの提案が求められている。

お客さまニーズの高まりを受け、沖縄グループにおいても、ニーズに合ったサービスを提供する「総合エネルギーサービス」の強化が必要

沖縄グループが目指す総合エネルギーサービス

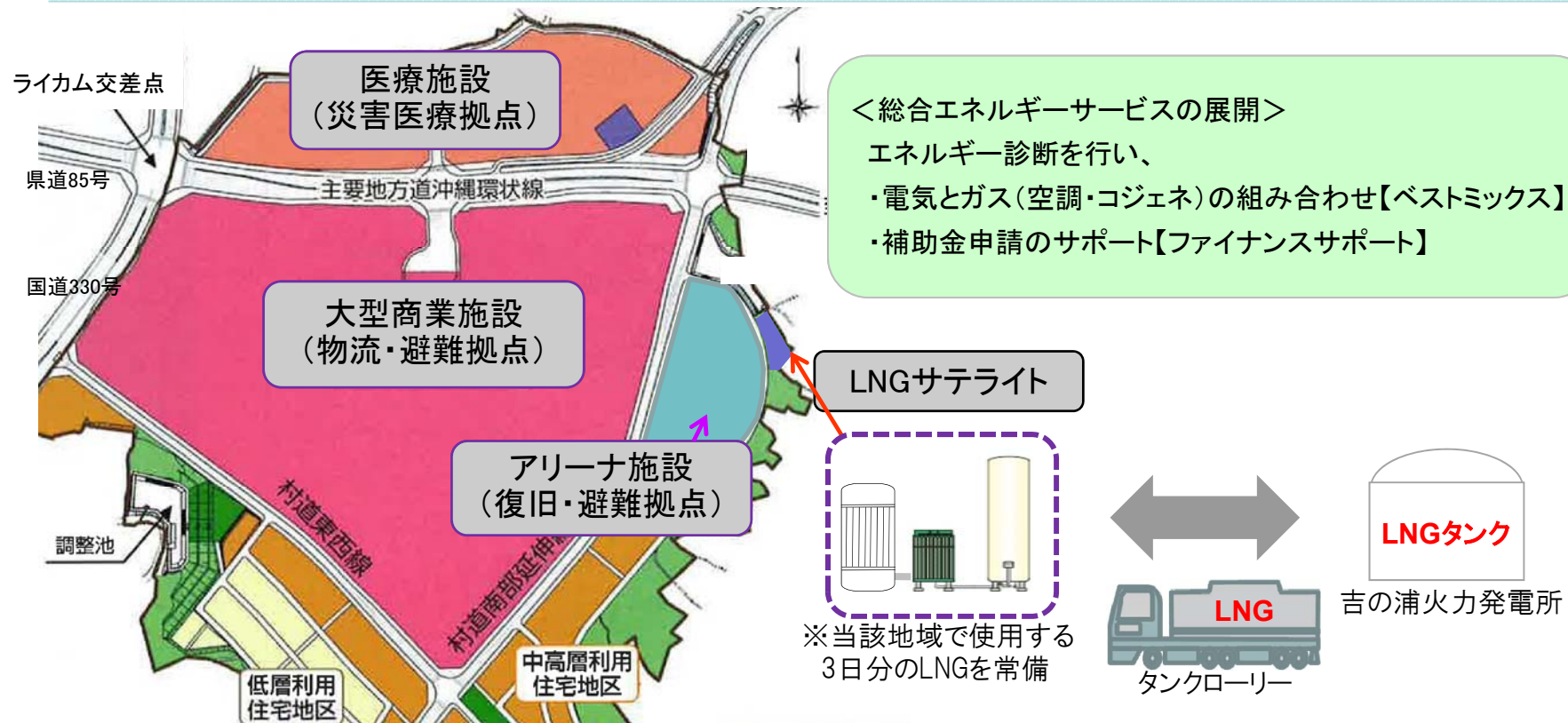
- エネルギー供給に加え、エネルギー診断からファイナンスサポート、設計・施工等までサービスを拡充
- 熱需要の多い産業・商業用分野のお客さまを中心に、電気とガス等のエネルギーをベストミックスで提案
- お客さまのニーズに合った最適なエネルギー環境をワンストップで提供

総合エネルギーサービスのイメージ



総合エネルギーサービスの展開②

- 2015年(H27)春より、北中城村アワセゴルフ場返還跡地において、沖縄県初となるLNGサテライト設備を活用した大型商業施設や医療施設向け大口ガス供給事業を開始予定
- 沖縄グループでは、電力の安定供給に加え、LNGサテライト、導管インフラを構築し、通常時の省CO₂の推進を図るとともに災害時の地域防災拠点としての機能強化に寄与することを目指す
- 「沖縄県における省CO₂と防災機能を兼備した街づくりプロジェクト」は国土交通省の建築物省CO₂の先導事業として補助金の対象事業に指定されており、当社のファイナンスサポートの第1号となる



災害対策への取り組み

- 沖縄のライフラインを担う当社は、これまでも台風等の災害に対し、日常的な対策として、災害発生原因の除去と耐災環境の整備に取り組んできた
- 大規模災害に対する設備等の災害対策の見直しを図るとともに、様々な災害復旧に万全を期すために、今後も関係機関と連携を図りながら実践的・組織的な対策に取り組んでいく

【防災業務計画の基本構想】

1. 防災体制の確立
2. 災害予防対策
3. 災害応急対策
4. 災害復旧対策

災害対策組織と機能

災害対策本部

- 災害対策活動の統括・指揮

災害対策支部(各部・支店)

- 各事業所における災害対策活動の実施
- 所属事業所の総括・指揮

災害対策支所(発電所・営業所)

- 各事業所における災害対策活動の実施



＜吉の浦マルチガスタービン発電所＞

沖縄本島全域が電源喪失した場合、電力系統立上げ電源、LNG燃料タンクの保安電源として活用

＜発電所概要＞

出力：3.5万kW×1機

燃料：LNG、灯油、バイオエタノール

運転開始予定：2015年3月

＜総合防災訓練＞



▲本部委員による机上訓練



▲鉄塔主脚材取替訓練

地域とともに 地域のために

地域社会との関わり ①

- 沖縄電力は、地域の皆さまのご支援・ご協力を得ながら、沖縄県の発展とともに成長してきた
- これからも“地域とともに、地域のために”をコーポレートスローガンに、地域の皆さまと共に持続的に発展する企業を目指して、様々な地域貢献活動に取り組んでいく

■ 第37回沖縄青少年科学作品展



「青少年の科学に対する興味と関心の喚起、地域産業の担い手となる人材の育成」を目的に1979年より毎年開催している。県内小・中・高校、高等専門学校およびアメリカンスクールの生徒の科学作品が展示され、今年は約1万人の方々が訪れた。

■ ファミリーハウス「がじゅまるの家」を寄贈



宿泊施設の様子

2008年6月、入院患者付き添い家族用宿泊施設(ファミリーハウス)を沖縄県へ寄贈。

当施設は、離島や遠隔地に住む子供たちが、高度な医療技術を有する沖縄県立南部医療センター・こども医療センター等で治療を受ける際に、家族の方々が低料金で宿泊でき、現在まで延べ2万人を超える方々が利用している。利用者からは「助かりました、安心して看護に当たれます」等の評価を頂いている。

地域社会との関わり ②

■ 芸術・文化の振興

■ 第20回 おきでんシュガーホール新人演奏会



1994年より次代を担う若手音楽家の発掘・育成や地域の音楽文化の振興などを目的に南城市、沖縄タイムス社と共同で開催。

若手音楽家の登竜門として、県内をはじめ、国内外より多数の応募があり、実力本位の国際的なオーディションとなっている。

■ おきでん対話旬間

日頃の感謝の気持ちを込めて、「ふれあい活動」、「地域奉仕活動」、「メッセージ活動」、「スポーツ交流活動」などの交流活動を展開し、地域社会やお客さまとの心のふれあいを図っている。



一人暮らしのお年寄り宅の
電気設備点検・修理



親子科学教室



ゲートボール大会

地域社会との関わり ③

■ スポーツの振興

■ おきでん旗争奪学童軟式野球大会



■ おきでん旗争奪なぎなた大会



■ 沖縄電力杯秋季一般卓球団体戦

■ 沖電工杯沖縄県幼少年剣道錬成大会

■ 沖電工杯沖縄県サッカー祭り

■ おきぷら杯沖縄県小学生ハンドボール大会

■ シンボルスポーツ(硬式野球部)

2014年5月沖縄初開催となった都市対抗野球九州地区予選では、代表権を勝ち取りました。
約5,000名の応援ありがとうございました。



▲第85回都市対抗野球大会九州地区予選



▲硬式野球部による少年野球教室



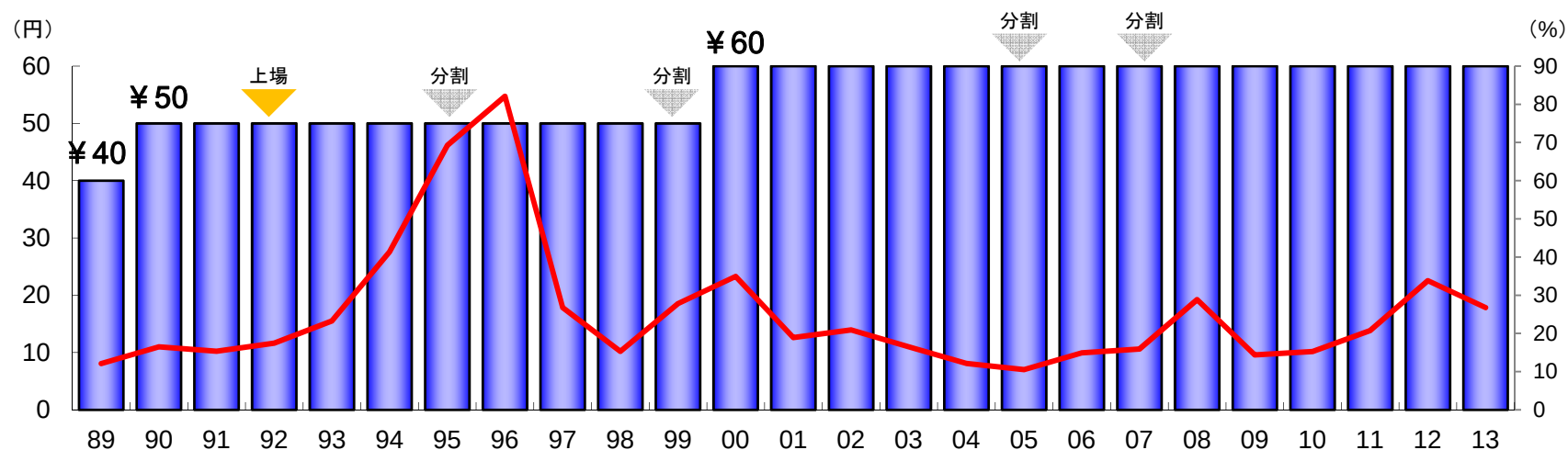
▲ベストナインに選出された狩俣選手

株主・お客さま還元

株主の皆さまへの還元

- 安定配当の継続を基本に、株主の皆さまへの還元を実施して参りました

■ 配当と配当性向



■ 株式分割の推移

年月日	発行済株式数	分割割合
1992.02.10	14,728,132	(株式上場)
1995.11.20	14,875,413	1 : 1.01
1999.05.25	15,172,921	1 : 1.02
2005.05.20	15,931,567	1 : 1.05
2007.04.01	17,524,723	1 : 1.10

■ 配当利回り (2015.2.20)

配当利回り
1.45%

株主・投資家の皆さまへの情報発信

沖縄電力「株主・投資家の皆さまへ」のホームページはこちら

<http://www.okiden.co.jp/ir/index.html>

株主・投資家の皆さまへ
地域の発展に資するエネルギーサービス企業体として、
グループ一丸となって邁進します

経営理念
「経営理念」をご覧ください。
詳細はこちら

経営方針・経営計画
「沖電グループビジョン」
「沖縄電力中長期経営計画の概要」「単年度経営計画の概要」をご覧ください。
詳細はこちら

財務情報
各種財務関連情報をご覧ください。
詳細はこちら

今日の株価
(野村證券提供)

トップマネジメントメッセージ
お客さまに「安全・安心」をお届けし、地域社会から好感を持って迎えられる企業を目指します。
こあいさつへ

株式情報
株主の皆さまへの提供資料や株式・配当に関する情報をご覧ください。
詳細はこちら

地域貢献活動
「地域とともに、地域のために」をコーポレートスローガンに地域社会の発展に努めます。
地域貢献活動へ

電気について知る
停電のときに
災害にそなえて
電気の安全な使い方

株主・投資家の皆さまへ
財務情報

会社情報
会社案内
おきでんグループ
主催イベント
環境関連情報
研究開発関連情報
電力の安定供給に向けた取り組み

経営方針・経営計画、財務情報、説明会資料等を掲載しております。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は推測・予測に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。
将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化などに伴い、変化することにご留意ください。

本資料に関するお問合せ先

〒901-2602

沖縄県浦添市牧港五丁目2番1号

沖縄電力株式会社

経理部 財務課 IR担当

TEL : 098-877-2341

FAX : 098-879-1317

Email : ir@okiden.co.jp